

研究課題名「パーキンソン病における心血管系自律神経障害の有無による臨床症候の差異の後ろ向き研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2005年1月1日以降、当院で自律神経機能検査を行った以下のいずれかの条件を満たす方

- 1) パーキンソン病の診断基準を満たす方
- 2) パーキンソン症候群の診断基準を満たす方
- 3) 自律神経機能異常を疑われ当院で自律神経機能検査を行ったものの、異常を認めなかった方

(パーキンソン病、パーキンソン症候群の診断基準として、特定疾患治療研究事業の認定基準を用います。)

2. 研究目的・方法

パーキンソン病は振戦、無動、筋強剛、姿勢反射障害といった運動症状を呈する神経変性疾患です。一方近年では運動症状に加え、心臓や消化管などの自律神経障害、うつなどの精神症状、認知機能の障害など様々な運動以外の症状が注目されています。本研究では自律神経、特に心臓の自律神経機能がパーキンソン病の病態、進行にどのように関与しているかを明らかにすることを目的に研究を行います。自律神経機能検査、臨床情報などの収集、解析を行って早期の診断や、予後の予測を行えるようにすることを目指します。

本研究を実施するにあたって、当院にて自律神経機能検査を受けた患者さんの診療情報を一部用いる予定です。対象となる患者さんは2005年1月1日以降に検査を受けた方です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の診療情報を使用します。

ID、発症年齢、初発症状、発症からの期間、嗜好歴(喫煙および飲酒の有無)、合併症、既往歴、家族歴、服用薬剤名、身長・体重、体脂肪量、体水分量、神経所見、Unified Parkinson's disease rating scale (UPDRS)、認知機能テスト {Mini Mental State Examination (MMSE)、Frontal Assessment Battery (FAB)、Japanese version of the Montreal Cognitive Assessment (MoCA-J)など}、Odor Stick Identification Test for the Japanese (OSIT-J)、血液、ヘッドアップティルト試験におけるデータ(血圧、脈拍、心電図CVR-R、血漿ノルアドレナリン値、バソプレッシン値、ノルアドレナリン負荷試験、ドブタミン負荷試験など)、MIBG心筋シンチグラフィ、頭部MRI、脳血流SPECT、ドパミントランスポーターシンチ、頸動脈エコー、を含む、これまでの診療か

ら得られたすべての情報。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

4 6 6-8 5 5 0 名古屋市昭和区鶴舞町65

名古屋大学医学部神経内科 052-744-2391

名古屋大学医学部附属病院検査部 中村友彦

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学 勝野雅央